

ローソン班

関根賢人・井出実・上條翔
狩野智美・初山彩芳

1. 合同ゼミの準備に関する感想と反省

今回の合同ゼミにあたって企業を知るには有価証券報告書で調べてみるのが一番重要であると思いました。有価証券報告書には各年の売上高（全チェーン店）や営業総収支、当期純利益などが載っていて企業の状況を知ることができます。

ゼミ合宿では有価証券報告書、日系テレコン、インターネットから調べたローソンについての資料をまとめて、「いかにローソンがファミリーマートより優位であるか」という根拠をいくつか挙げていきました。その際、資料の不足や、班でのコミュニケーションが上手く取れなかったことが反省する点です。ゼミ合宿後でも、班で集まって話し合う機会があまりなく、そのため全員がプレゼンの内容をしっかりと理解できていなかった点が最も反省する点です。調査に関してもきちんとした役割分担ができていなく、段取りが悪かったと思います。

しかし、私たちの身近なコンビニ業界についての状況を知ることができたのはとても勉強になりました。さらに、どのようにプレゼンを進めていけばいいのか、どのようなことを調べていけばいいのかということもよく理解していなかったため、今回は準備のやり方まで勉強になりました。

2. 合同ゼミでの報告内容とそれに対する質疑の概要

報告内容については有価証券報告書から経営分析をし、ローソンが優位であるということをローソンとファミリーマートの全チェーン店売上高、営業総収支、当期純利益について各年の推移を比較したグラフと双方の現在の国内合計店舗数のグラフで説明しました。

そこで、売上高と店舗数から近年ファミリーマートが追い上げているという現状を述べ、これまでの戦略について説明した後、その戦略の問題点をいくつか挙げていき、どのような対策が必要かを説明しました。

対策として「ローソンの am/pm 買収」、「トラックを改造した移動店舗の営業乗り出し開始」についての最近の新聞記事を挙げ、最後に「三菱商事とイオンの業務提携による子会社同士であるローソンとミニストップの共同事業展開」についての最近の新聞記事載せて、ローソンがさらに優位になってきたことを説明しました。

質疑の概要は新聞記事に関するものが主でした。

3. 合同ゼミに対する感想と反省

まず、最初にも言いましたが、プレゼンの準備が不十分であったことと全員がプレゼン内容を完璧に理解していなかったことが反省する点です。プレゼン自体に関してもただ原稿を棒読みするだけになってしまい、伝わるものも伝わらなくなっていたような気がします。原稿を見なくてもいいくらい読み込む必要があったと思います。

しかし、今回の合同ゼミでは資料を集めて企業の調査をし、それを班でプレゼンし、さらに相手の班とディベートするという初めての経験をしました。企業を調査するにあたって有価証券報告書というものがあることを知ることができたし、プレゼンの準備と進め方についても勉強になったので知識の向上に繋がったと思います。人前でプレゼンをするという貴重な体験ができたことも将来への自信になると思います。

これから社会人になっていく私たちにとって今回の合同ゼミは非常に良い経験になったと思います。

(関根 賢人)